

＜シラバス＞

科目名	1. 職務の理解【6時間】	
目標	研修に先立ち、これからの介護が目指すべき、その人の生活を支える「在宅におけるケア」等の実践について、介護職がどのような環境で、どのような形で、どのような仕事を行うのか、具体的イメージを持って実感し、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。	
科目の細目	多様なサービスの理解（2時間）	
	講義・演習の内容、実施方法	<p>＜講義＞ 介護保険サービス(居宅、施設)、介護保険外サービスの概要を理解する。</p>
科目の細目	介護職の仕事内容や働く現場の理解（4時間）	
	講義・演習の内容、実施方法	<p>＜講義＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種サービスの内容や利用者像などを通じて、介護職の仕事内容や働く現場を理解する。 ・ケアマネジメントを通じて、介護サービス提供に至るまでの流れを理解する。 ・チームアプローチの必要性と、具体的な連携方法を理解する。 <p>＜演習＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・居宅、施設の実際のサービス提供現場の様子について、視覚教材(DVD)を視聴し、個人ワーク、グループワークにより話し合う。
	使用する機器・備品	視聴覚教材(DVD)、パソコン、プロジェクター、スクリーン、スピーカー

＜シラバス＞

科目名	2. 介護における尊厳の保持・自立支援【9時間】	
目標	介護職が、利用者の尊厳ある暮らしを支える専門職であることを自覚し、自立支援、介護予防という介護・福祉サービスを提供するにあたっての基本的視点を理解する。	
科目の細目	人権と尊厳を支える介護（7時間）	
	講義・演習の内容、実施方法	<p>＜講義＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護を必要とする人が有する権利とは何かを学ぶ。 ・介護に関する基本的な視点(ICF, QOL, ノーマライゼーション)について理解する。 ・利用者の権利を擁護するための制度の種類や内容(虐待防止、身体拘束禁止、苦情解決の制度、個人情報保護に関する制度、消費者保護法)について理解する。 <p>＜演習＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護を必要とする人が有する権利について、場面を想定し、グループワークにより話し合う。 ・介護に関する基本的な視点(ICF, QOL, ノーマライゼーション)について、事例にもとづきグループワークを行う。 ・虐待防止、身体拘束について、事例にもとづきグループワークを行う。
科目の細目	自立に向けた介護（2時間）	
	講義・演習の内容、実施方法	<p>＜講義＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護における自立とは何かを学ぶ。 ・「その人らしさ」を尊重するために、介護職として配慮すべき点について理解する。 ・介護の予防の考え方について理解する。 <p>＜演習＞</p> <p>自立支援、介護予防について事例にもとづきグループワークを行う。</p>
	使用する機器・備品	パソコン、プロジェクター、スクリーン、スピーカー

＜シラバス＞

科目名	3. 介護の基本【6時間】	
目標	<p>介護職に求められる専門性と職業倫理の必要性に気づき、職務におけるリスクとその対応策うち重要なものを理解する。</p> <p>介護を必要としている人の個性を理解し、その人の生活を支えるという視点から支援をとらえることができる。</p>	
科目の細目	介護職の役割、専門性と多職種との連携（1時間）	
	<p>講義・演習の内容、実施方法</p>	<p><講義></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護環境の特徴(施設と在宅との違い、地域包括ケアの方向性など)を学ぶ。 ・介護の専門性について考え、専門職に求められるものが何かを学ぶ。 ・多職種連携の目的を学び、利用者を支援するさまざまな専門職について理解する。 <p><演習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・視覚教材(DVD)を視聴し、多職種連携についてグループワークにより話し合う。
科目の細目	介護職の職業倫理（1時間）	
	<p>講義・演習の内容、実施方法</p>	<p><講義></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職がもつべき職業倫理を学ぶ。 ・介護職に求められる法的規定、行動規範を理解する。 <p><演習></p> <p>専門職としての職業倫理、介護職の基本的態度について、場面を想定し話し合う。</p>
科目の細目	介護における安全の確保とリスクマネジメント（2時間）	
	<p>講義・演習の内容、実施方法</p>	<p><講義></p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故に結びつく要因を探り対応していく技術や、リスクとハザード等、介護における安全の確保を説明する。 ・リスクマネジメントやその分析手法と視点等、事故予防と安全対策について説明する。 <p><演習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・危険予測について、具体的な事例を用いてグループワークを行う。
科目の細目	介護職の安全（2時間）	
	<p>講義・演習の内容、実施方法</p>	<p><講義></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護の特徴をふまえて、介護職自身の健康管理の必要性について学ぶ。 ・介護職に起こりやすいところからだの病気や障害について学ぶ。 ・介護職自身の健康管理の方法(病気や障害の予防と感染予防対策)について学ぶ。 <p><演習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職によるストレス解消法について話し合う。 ・感染予防としての手洗いについて、手洗いチェッカーを用いて各自の手洗いを確認する。
	<p>使用する機器・備品</p>	<p>視聴覚教材(DVD)、パソコン、プロジェクター、スクリーン、スピーカー、手洗いチェッカー</p>

＜シラバス＞

科目名	4. 介護・福祉サービスの理解と医療との連携 【9時間】	
目標	介護保険制度や障害者自立支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について、その概要のポイントを列挙できるようになる。	
科目の細目	介護保険制度（3時間）	
講義・演習の内容、実施方法	<p>＜講義＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護保険制度創設の背景・経緯・目的・動向について理解する。 ・介護保険制度の基本的仕組み、保険給付とその種類、要介護・要支援認定の手順、利用者負担、地域支援事業について理解する。 ・制度を支える組織・団体の機能と役割、および財源について理解する。 ・介護保険制度におけるケアマネジメントについて学ぶ。 <p>＜演習＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・複数の事例を用いてどのようなサービスプランが考えられるかグループワークを行う。 	
科目の細目	医療との連携とリハビリテーション（3時間）	
講義・演習の内容、実施方法	<p>＜講義＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護福祉士等が行う医行為について理解する。 ・在宅および施設における介護職と看護職の役割・連携について理解する。 ・リハビリテーションの理念と考え方について理解する。 <p>＜演習＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・吸引器、パルスオキシメーターなどの使い方、計測の仕方を見学する。 ・体温測定、自動血圧測定器による血圧測定を体験する。 	
科目の細目	障害者自立支援制度及びその他制度（3時間）	
講義・演習の内容、実施方法	<p>＜講義＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者福祉制度の理念 ・障害者自立支援制度の基本的なしくみを理解する。 ・利用者の権利を擁護するための制度として、日常生活自立支援事業、成年後見制度について学ぶ。 <p>＜演習＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害者福祉制度の理念について、グループワークにより話し合う。 ・視覚教材(DVD)を視聴し、日常生活自立支援事業、成年後見制度について話し合う。 	
使用する機器・備品	吸引器、パルスオキシメーター、体温計、自動血圧測定器、視聴覚教材(DVD)、パソコン、プロジェクター、スクリーン、スピーカー	

＜シラバス＞

科目名	5. 介護におけるコミュニケーション技術【6時間】	
目標	高齢者や障害者のコミュニケーション能力は一人ひとり異なることと、その違いを認識してコミュニケーションを図ることが専門職に求められていることを認識し、初任者として最低限の取るべき(取るべきでない)行動例を理解する。	
科目の細目	介護におけるコミュニケーション（3時間）	
	講義・演習の内容、実施方法	<p>＜講義＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対人援助関係におけるコミュニケーションの意義と目的を理解する。 ・介護におけるコミュニケーションの役割と技法について理解する。 ・事例を通して、利用者の状況・状態に応じたコミュニケーションの実際を理解する。 <p>＜演習＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護におけるコミュニケーションについて、事例にもとづきグループワークを行う。 ・視聴覚教材(DVD)を視聴し、対人援助関係におけるコミュニケーションについて話し合う。
科目の細目	介護におけるチームのコミュニケーション（3時間）	
	講義・演習の内容、実施方法	<p>＜講義＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護における記録の意義と目的を理解し、書き方の留意点などについて学ぶ。 ・チームのコミュニケーションに必要な報告・連絡・相談の意義と目的を理解し、具体的な方法について学ぶ。 ・会議の意義と目的を理解し、具体的な進め方について学ぶ。 <p>＜演習＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チームのコミュニケーションについて、事例にもとづきロールプレイやグループワークを行う。
	使用する機器・備品	視聴覚教材(DVD)、パソコン、プロジェクター、スクリーン、スピーカー

＜シラバス＞

科目名	6. 老化の理解【6時間】	
目標	加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自らが継続的に学習すべき事項を理解する。	
科目の細目	老化に伴うところとからだの変化と日常（3時間）	
	講義・演習の内容、実施方法	<p>＜講義＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老化が及ぼす心理や行動には個人差が大きいことについて理解する。 ・老化とともに社会的環境が心理や行動に与える影響について理解する。 ・多くの側面にわたる身体的老化現象と日常生活への影響について理解する。 <p>＜演習＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・老化に伴う心身機能の変化について、事例にもとづき話し合う。 ・身体的老化現象と日常生活への影響について、事例にもとづき話し合う。
科目の細目	高齢者の健康（3時間）	
	講義・演習の内容、実施方法	<p>＜講義＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の多くにみられる症状や訴えがどのような疾病から起こるかなど、その特徴について理解する。 ・高齢者に多い病気の原因や特徴、その病気をかかえる高齢者の生活上の留意点について理解する。 <p>＜演習＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者に多くみられる症状や、高齢者に多い病気について、留意点を確認し合う。
	使用する機器・備品	パソコン、プロジェクター、スクリーン

＜シラバス＞

科目名	7. 認知症の理解【6時間】	
目標	介護において認知症を理解することの必要性に気づき、認知症の利用者を介護する時の判断の基準となる原則を理解する。	
科目の細目	認知症を取り巻く状況（1時間）	
	講義・演習の内容、実施方法	＜講義・演習＞ 認知症ケアの理念についてロールプレイを行い認知症の人の立場、気持ちを考える。
科目の細目	医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理（2時間）	
	講義・演習の内容、実施方法	＜講義・演習＞ 医学的側面から見た認知症の基礎的理解について、具体的事例にもとづき話し合い、理解する。
科目の細目	認知症に伴うところとからだの変化と日常生活（2時間）	
	講義・演習の内容、実施方法	＜講義＞ 認知症に伴うところとからだの変化について、具体的な事例を用いて説明する。 ＜演習＞ 認知症の人の対応について、事例にもとづきロールプレイを行い、認知症の人の気持ちを体験する。
科目の細目	家族への支援（1時間）	
	講義・演習の内容、実施方法	＜講義・演習＞ ・本人や家族の思いについて、事例にもとづき話し合い、家族介護について理解する。 ・家族とは助けるだけの存在ではなく、ともに認知症の人を支えていくパートナーであることを学ぶ。
	使用する機器・備品	視聴覚教材(DVD)、パソコン、プロジェクター、スクリーン、スピーカー

＜シラバス＞

科目名	8. 障害の理解【3時間】	
目標	障害の概念とICF、障害者福祉の基本的な考え方について理解し、介護における基本的な考え方について理解する。	
科目の細目	障害の基礎的理解（1時間）	
	講義・演習の内容、実施方法	<p>＜講義・演習＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害の概念とICF(障害とは 障害の構造的理解 障害の受容) ・障害者福祉の基本理念(ノーマライゼーションの概念 リハビリテーションとは インクルージョンとは) (基本講義、一部意見交換を取り入れる。)
科目の細目	障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的理解(1時間)	
	講義・演習の内容、実施方法	<p>＜講義・演習＞</p> <p>各障害の特徴と支援について説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・知的障害 ・精神障害(精神疾患 高次脳機能障害 発達障害) (基本講義、一部意見交換を取り入れる。) ・身体障害、その他の心身機能障害 (具体的事例にもとづいて説明する。事例を用いて当事者の気持ちについて話し合う。)
科目の細目	家族の心理、かかわり支援の理解（1時間）	
	講義・演習の内容、実施方法	<p>＜講義＞</p> <p>障害の受容、家族への支援について、具体的事例を用いて説明する。</p> <p>＜演習＞</p> <p>理解できたことを話し合う。</p>
	使用する機器・備品	視聴覚教材(DVD)、パソコン、プロジェクター、スクリーン、スピーカー

＜シラバス＞

科目名	9. こころとからだのしくみと生活支援技術【75時間】	
目標	<ul style="list-style-type: none"> ・介護技術の根拠となる人体の構造や機能に関する知識を習得し、安全な介護サービスの提供方法を理解し、基礎的な一部又は全介助等の介護が実施できる。 ・尊厳を保持し、その人の自立及び自律を尊重し、持てる力を発揮してもらいながらその人の在宅・地域等での生活を支える介護技術や知識を習得する。 	
	■基本知識の学習 <10時間>	
科目の細目	介護の基本的な考え方（2時間）	
	講義・演習の内容、実施方法	<講義・演習> ICFの視点に基づく生活支援、法的根拠に基づく介護、理論に基づく介護、介護保険制度下のサービスについて、事例にもとづき理解する。
科目の細目	介護に関するこころのしくみの基礎的理解(2時間)	
	講義・演習の内容、実施方法	<講義・演習> ・高齢者の心理、自己実現と生きがいづくりについて理解する。 ・事例にもとづき高齢者の心理について具体的に理解し、生きがいづくりについて話し合う。
科目の細目	介護に関するからだのしくみの基礎的理解(6時間)	
	講義・演習の内容、実施方法	<講義・演習> ・人体の各部の名称と働きに関する基礎知識、骨・関節・筋に関する基礎知識、中枢神経系と体性神経に関する基礎知識、自律神経と内部器官に関する基礎知識を理解する。 ・バイタルサインについて、体温測定などにより、観察ポイントを理解する。 ・身体の動きの基本、ボディメカニクスの原則と介護への活用について理解し、実際に動いて確認する。 ・基礎的知識の理解度について確認するため、筆記による小テストを実施する。
	使用する機器・備品	ベッド、体温計、自動血圧測定器、視聴覚教材(DVD)、パソコン、プロジェクター、スクリーン、スピーカー

＜シラバス＞

■生活支援技術の学習<55時間>		
科目の細目	生活と家事（3時間）	
講義・演習の内容、実施方法	<p><講義></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活を継続していくための家事の重要性について学ぶ。 ・生活援助(調理、洗濯、掃除などの援助)は利用者にとってどのような意味があるのかを理解する。 ・生活援助とは何かについて具体的に理解する。 <p><演習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生活援助(調理、洗濯、掃除などの援助)について、事例にもとづきロールプレイやグループワークを行う。 	
科目の細目	快適な居住環境整備と介護（2時間）	
講義・演習の内容、実施方法	<p><講義・演習></p> <p>住環境整備、福祉用具の活用について事例にもとづきグループワークを行い、理解する。</p>	
科目の細目	整容に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護（6時間）	
講義・演習の内容、実施方法	<p><講義></p> <ul style="list-style-type: none"> ・整容の意義について理解する。 ・衣服着脱の介護に必要な基礎知識と整容の支援技術について理解する。 ・身体状況に合わせた衣服の選択と着脱、自立への援助やQOLの向上について理解する。 <p><実技演習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・整容の支援技術についての実技を行う。 ・「脱建着患」の基本に沿って着脱の実技を行う。 	
科目の細目	移動・移乗に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護(15時間)	
講義・演習の内容、実施方法	<p><講義></p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動、移乗に関する用具や機器・車椅子の基本的な使用方法について理解する。 <p><実技演習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・移動、移乗に関する介護技術(体位変換・移乗・車椅子移動・歩行)の実技を行う。 	
科目の細目	食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護（6時間）	
講義・演習の内容、実施方法	<p><講義></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事に関するからだのしくみについて理解する。 ・口腔ケアの意義・口腔の仕組みとはたらき・口腔ケアの基本と実際について理解する。 <p><演習></p> <ul style="list-style-type: none"> ・食事介助の実技を行う。 ・口腔ケアの実技を行う。 	

＜シラバス＞

科目の細目	入浴、清潔保持に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護（10時間）	
	講義・演習の内容、実施方法	<p><講義> 入浴、清潔の意味、入浴に関するからだのしくみについて理解する。</p> <p><演習> ・個浴・特殊浴の実技を行う。 ・全身清拭の実技を行う。 ・手浴、足浴、洗髪の方法を理解し、実技を行う。</p>
科目の細目	排泄に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護（7時間）	
	講義・演習の内容、実施方法	<p><講義> ・排泄に関するところとからだのしくみについて理解する。 ・排泄に関連した用具、物品の使い方を理解する。</p> <p><実技演習> ・排泄に関する実技（おむつ交換、ポータブルトイレ、トイレ介助）を行う。</p>
科目の細目	睡眠に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護（3時間）	
	講義・演習の内容、実施方法	<p><講義> 睡眠の意味と睡眠に関するからだのしくみについて理解する。</p> <p><実技演習> ・ベッドメイキングの実技を行う。</p>
科目の細目	死にゆく人に関連したところとからだのしくみと終末期介護（3時間）	
	講義・演習の内容、実施方法	<p><講義> ・ターミナルケアの考え方、終末期の高齢者の死に至る過程について理解する。 ・ターミナルケアの本人、家族への対応の仕方と介護職の役割を理解する。 ・ターミナルケアの留意点と多職種との連携について理解する。</p>
	使用する機器・備品	<p>ベッド、タオル、バスタオル、視聴覚教材（DVD）、プロジェクター、スクリーン、スピーカー、寝巻き、パジャマ、トレーナー、寝具一式、高齢者疑似体験道具、車椅子、ポータブルトイレ、紙おむつ、パット（女性用、男性用）、フラット、新聞紙、尿器（女性用、男性用）、プラスチック手袋、陰洗用ボトル、ポリ袋、はさみ、バケツ、レジャーシート、トイレットペーパー、シャンプー、ボディソープ、洗髪器、空きペットボトル、食事介助用食材、特殊食器、スプーン、紙コップ、鏡、染めだし綿棒、ビニールテープ、カッター、クラッカー（口腔用）等</p>
■生活支援技術演習<10時間>		
科目の細目	介護過程の基礎的理解（3時間）	
	講義・演習の内容、実施方法	<p><講義・演習> ・介護過程の目的、意義、展開（情報収集、介護計画立案、実践評価等）、チームアプローチについて理解する。 ・事例にもとづき、介護過程の展開を考える。</p>
科目の細目	総合生活支援技術演習（7時間）	
	講義・演習の内容、実施方法	<p><実技演習> 事例の高齢者の心身状態に合わせ、どのような介護技術を使ったらよいか、以下の順序で行う。 ①事例の概要 ②生活状況、利用者の状態像の把握、分析 ③適切な支援技術の検討 ④支援技術演習⑤支援技術の課題 ・個人ワーク、グループワークにより検討する。 ・事例は高齢（要支援2程度、認知症、片麻痺、座位保持不可）から2事例を選択して実施する。</p>
	使用する機器・備品	<p>ベッド、タオル、バスタオル、寝巻き、パジャマ、トレーナー、寝具一式、杖、車椅子、ポータブルトイレ、紙おむつ、パット（女性用、男性用）、フラット、プラスチック手袋、陰洗用ボトル、ポリ袋、はさみ、バケツ、レジャーシート、トイレットペーパー、シャンプー、ボディソープ等</p>

＜シラバス＞

科目名	10. 振り返り【4時間】	
目標	研修全体を振り返り、本研修を通して学んだことについて再確認を行うとともに、就業後も継続して学習・研鑽する姿勢の形成、学習課題を確認する。	
科目の細目	振り返り（2時間）	
	講義・演習の内容、実施方法	<p>＜講義＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の生活を支援する根拠に基づく介護の要点について確認する。 <p>＜演習＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修を通して学んだこと(自己評価)、今後継続して学ぶことについて、個人ワーク、グループワークを行い、発表、共有する。
科目の細目	就業への備えと研修修了後における継続的な研修(2時間)	
	講義・演習の内容、実施方法	<p>＜講義＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・継続的に学ぶべきことについて、理解する。 ・研修修了後における継続的な研修について、具体的にイメージできるような事業所等における実例により理解する。 <p>＜演習＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職の仕事内容や働く現場、事業所等における研修について、次のステップへの課題を話し合う。
	使用する機器・備品	視聴覚教材(DVD)、パソコン、プロジェクター、スクリーン、スピーカー